

第85号

Water & Mud Newspaper

# 水 泥 新 聞

2023年(令和5年)6月5日



編集

フジクリーン工業株式会社  
〒464-0850  
愛知県名古屋市中千種区今池  
四丁目1番4号  
TEL 052-733-0325

## フジクリーンにおける サステナビリティへの取り組み

浄化槽の開発から維持管理まで一貫体制で手がけ、国内外の豊かな水環境を支えるフジクリーン。その活動はSDGsの目標達成に貢献するものと考え、2023年3月にサステナビリティページを公式WEBサイトに公開。今回は、同ページに掲載中のサステナビリティステートメントや取り組みの一部を紹介する。



### 浄化槽(製品)を通じて 実現するサステナビリティ

#### ① 水環境の改善

創業から培ってきた開発力、商品力を生かして、水環境に課題を持つ国内外の地域や人々に貢献している。排水処理施設の未整備により衛生環境が悪化していたアメリカ アラバマ州では、州の公衆衛生局が立ち上げたプロジェクトにフジクリーンも参画。また、従来のセプティックタンクで排水処理を行っていたフィリピン ボホール島では大型浄化槽 PCN型を導入して、環境と臭気の課題を改善した。

#### ② 社会基盤形成への貢献

下水道の敷設が困難な地域のインフラとして、浄化槽の設置を推進。

世界最大の砂の島として知られているオーストラリアのフレーザー島には、大型浄化槽を設置することで世界自然遺産の美しい景観の維持に貢献。国内では青森県の県立自然公園に下水道クイックプロジェクトとして、FGU型(※詳しくは裏面に)が導入されている。また、短工期での設置が可能という特性を生かし、東日本大震災や熊本地震など被災地の仮設住宅に浄化槽を導入し、衛生的な暮らしの提供にも貢献している。

### サステナビリティを目指して 取り組む事業活動

#### ③ 環境にやさしいモノづくり

自社工場での製造において温室効果ガス排出量の年次推移を把握する

ほか、製品をトラックに2段積みにして、運搬回数を減らすなど、物流によるCO2排出削減にも取り組んでいる。また自社工場の製造環境の整備にも取り組み、働く人にやさしい労働環境の構築にも注力している。

#### ④ 働きがいの向上

「フジクリーンで働いてよかったと思える会社にする」を目標に、社員一人ひとりのライフステージに合わせたキャリア形成をサポートしている。

公開中のサステナビリティページは  
こちらからチェック!



### 水の大切さを伝える環境教育を実施

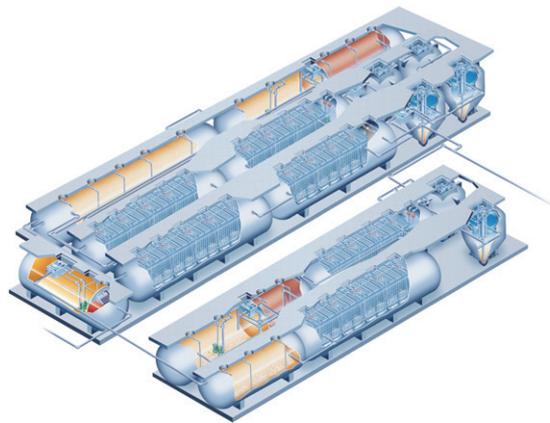
3月中旬、都内の中学校にて「ソロモン諸島の生活と上下水道」をテーマに、出張授業を開催しました。日本と比較しながら説明することで、生徒たちは食事や住居の違いに驚き、日本の上下水道はいかに恵まれているかを理解。途上国の上下水道設備を整える支

援の必要性を感じてくれました。終了後には「日々の生活でできること(食べ残しや油を流さない、水をムダ使しない等)から心がけようと思った」とうれしい感想も。今後は実験を用いた参加型授業にも挑戦したいです。(技術管理部 担当M)



▲国内外の水処理に興味を持ち、学びを深めてくれた生徒たち

# 極小規模処理施設FGU型が 国内外の水質改善に貢献



## 下水道クイックプロジェクト でFGU型を導入

低コストかつ早期に汚水処理施設を整備する方法として、平成18年に国土交通省が打ち出した「下水道クイックプロジェクト」。下水道未普及地域が抱える問題を踏まえた上で8つの手法が提示されたが、そのうちの 하나가工場製作型極小規模処理施設(以下、極小規模処理施設)だ。実用に向けては北海道の4つの町で社会実験が行われ、苫前町と安平町ではフジクリーン製のFGU型(接触酸化方式)が試験運用された。その後、平成24年には極小規模処理施設は新技術として一般化され、フジクリーンは社会実験で得た知見を基にFGU型を完成させた。

令和2年4月には、青森県弘前市にFGU型が導入され、地域の豊かな水資源と快適な生活環境を支えている。今後、極小規模処理施設としてFGU型の導入が見込まれる事例としては、主に以下がある。

### ① 単独公共下水道を計画する地域

FGU型はコスト削減と工期短縮を

叶えた上で、日排水量約300m<sup>3</sup>までの小規模な下水道未普及地域をカバー。

### ② 下水道管が川や山を經由する地域

下水処理場と未普及地域の間に河川や山がある場合、下水道管の延伸にかかる膨大なコストの問題をFGU型が解決。

### ③ 老朽化した下水処理場の改修

人口減少が見込まれる地域の下水処理場の改修には、処理場の規模の見直しが必要。FGU型は汚水量増減に機動的に対応し、増設や移設も可能。

## SDGsの目標6の達成に 貢献するFGU型

世界人口の40%を超える人々が、水不足の影響を受けており、この割合は今後も増えると予測。さらに人間の活動に起因する廃水の80%以上は、まったく処理されないまま川や海に排出され、環境汚染を引き起こしている(※)。SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」を達成するためにも、国内だけでなく下水道未普及地域を抱える国々へのFGU型の早期普及が期待される。

## 深掘り+ プラス

## 水にまつわる世界の現状を知る

- 糞便で汚染された飲料水を利用する人 = 約18億人
- トイレや公衆便所など、基本的な衛生施設を利用できない人 = 24億人以上
- 処理されずに排出される排水の割合 = 80%以上
- 劣悪な衛生状態に伴う下痢性疾患で死亡する子ども = 1日800人以上
- 劣悪な衛生状態と安全でない水が原因で亡くなる人 = 年間約180万人

※ユニセフ「170822 Why it Matters Goal 6 Sanitation(EJ)」  
<http://www.unic.or.jp/files/54c38330d412f4b7ccafd086511476f8-1.pdf>より

# 下水道展 '23 札幌

開催日時 8月1日(火)~4日(金) 10:00~17:00  
(初日10:30~17:00、最終日10:00~16:00)

場所 札幌ドーム  
フジクリーン工業出展ブース:S4-07

## 工場製作型極小規模処理施設 FGU型

FRP製品は、腐食性ガスに対する耐食性や、施工コスト面、納期面に優れており、小規模な下水処理施設の普及促進技術として注目が集まっております。本ブースでは、FRP製工場製作型極小規模処理施設が注目され始めた時代背景を踏まえ、本技術の概要を、導入事例と交えて紹介いたします。



カワセミズホ

